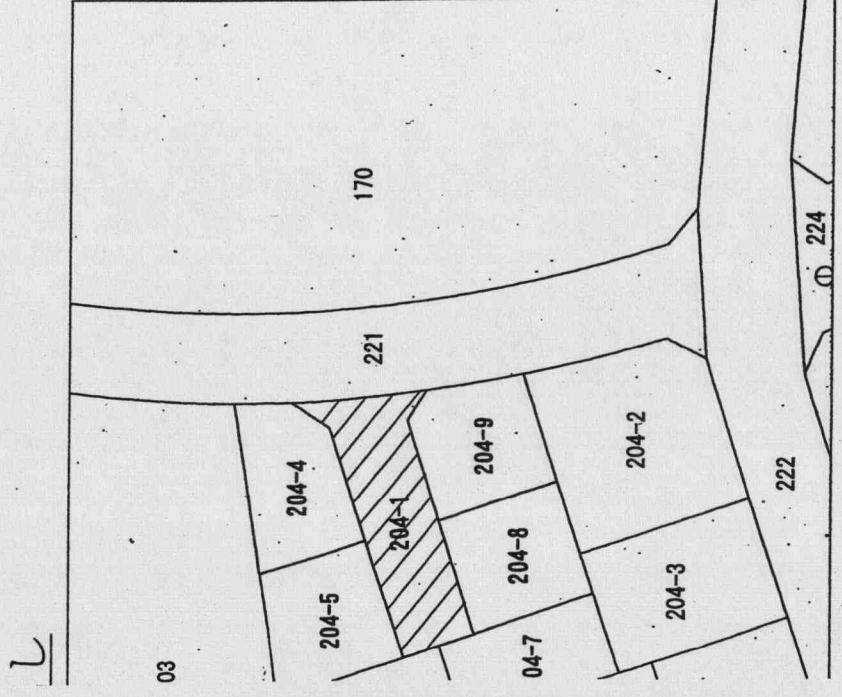
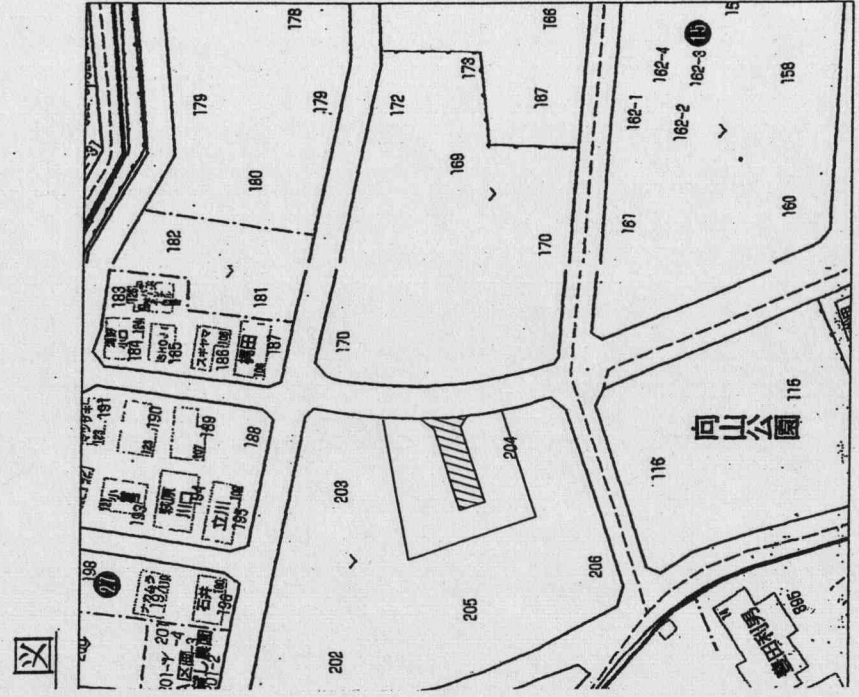


縮	付近見取図	1:1500
	地籍図	1:200
	構造図	1:50
尺	公図の写し	1:500

原本照合済

* 道路の位置の指定			
告示年月日	4年3月22日	指定年月日	4年3月22日
告示番号	第46号	番号	第6号



(凡例)

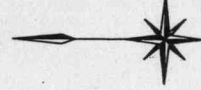
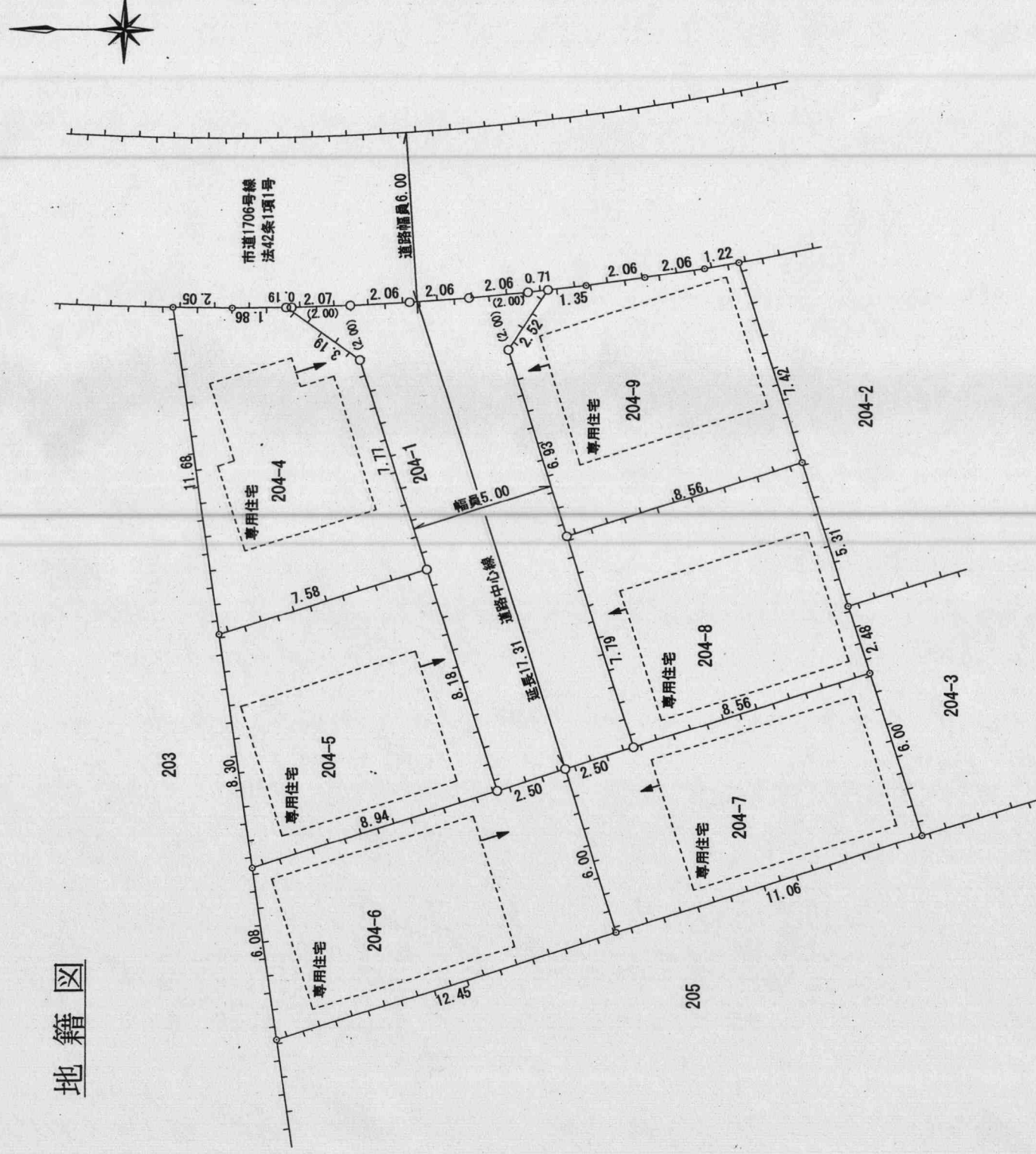
方道	位置の標識	米	郡	界線	---
主	(構造を記入のこと)	==	都	市	==
井	要	---	既	存	==
生	出	→	申	請	==
予	入	⊕	す	る	==
既	戸	⊗	道	路	==
敷	塚	⊙	の	位	==
地	物	⊕	置	及	==
市	定	⊙	び	指	==
	(用途を記入のこと)	⊙	定	さ	==
	存	⊙	さ	れ	==
	(用途を記入のこと)	⊙	れ	た	==
	界	⊙	た	道	==
	番	⊙	道	路	==
	村	⊙	の	の	==
	界	⊙	位	置	==
	界	⊙	及	び	==
	界	⊙	水	路	==
	界	⊙	及	び	==
	界	⊙	土	揚	==
	界	⊙	敷		==

- (注 意)
1. 承諾書の「権利別」欄には、申請に係る土地（隣接土地を含む。）の所有者、借地権者、建築物若しくは工作物の所有者、他の権利者又は管理者（申請に係る道路を建築基準法施行令第144条の4第1項及び第2項に規定する基準に適合するように管理する者をいう。）の別をそれぞれ記入すること。
 2. 図面中に、地番、権利別及び氏名をそれぞれ記入すること。
 3. 申請の道路の幅員及び延長の単位はm（小数点以下2位まで）とし、面積の単位は㎡（小数点以下2位まで）とすること。
 4. 付近見取図、地籍図、道路構造図、自動車転回広場の構造図、公図の写し及び土地に高低さがある場合はその断面図を記入すること。
 5. 道路及び自動車転回広場の構造図には、側溝及び路面の構造を記入すること。
 6. 付近見取図と地籍図の方位は、一致させること。
 7. 隣接土地境界又は測量の基点から申請道路までの距離を記入すること。
 8. ※欄には、記入しないこと。
 9. 記入欄が不足する場合には、摘宜欄を設けて記載するか、別表に必要事項を記載して添付すること。

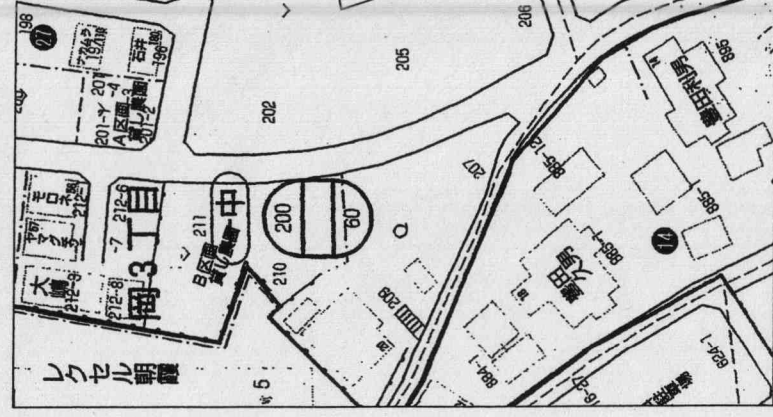
道路位置図 (指定・変更・取消)

- 1、申請に係る土地の地名地番 朝霞市岡三丁目204番1
- 2、申請に係る道路の幅員、延長及び面積
幅員 5.00メートル・延長 17.31メートル・面積 90.59平方メートル
- 3、利用宅地総面積 499.92平方メートル (道路部分含む)

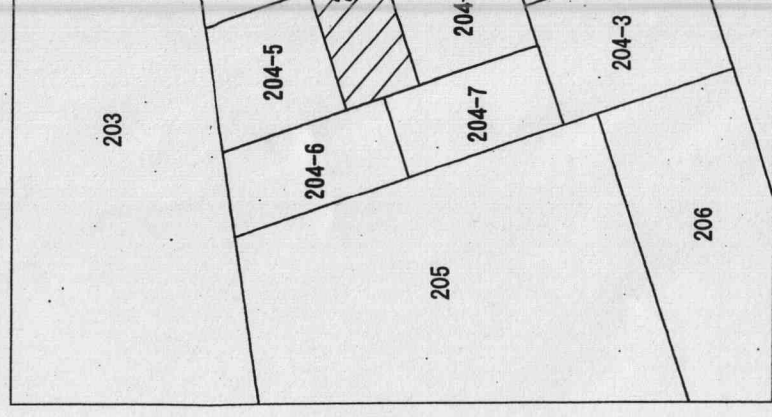
地籍図



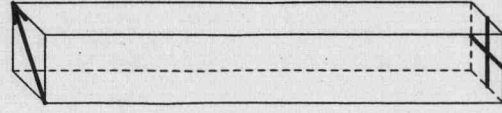
付近見取図



公図の写し



境界石 S=1:10
(0.09x0.09x0.60)



構造図

